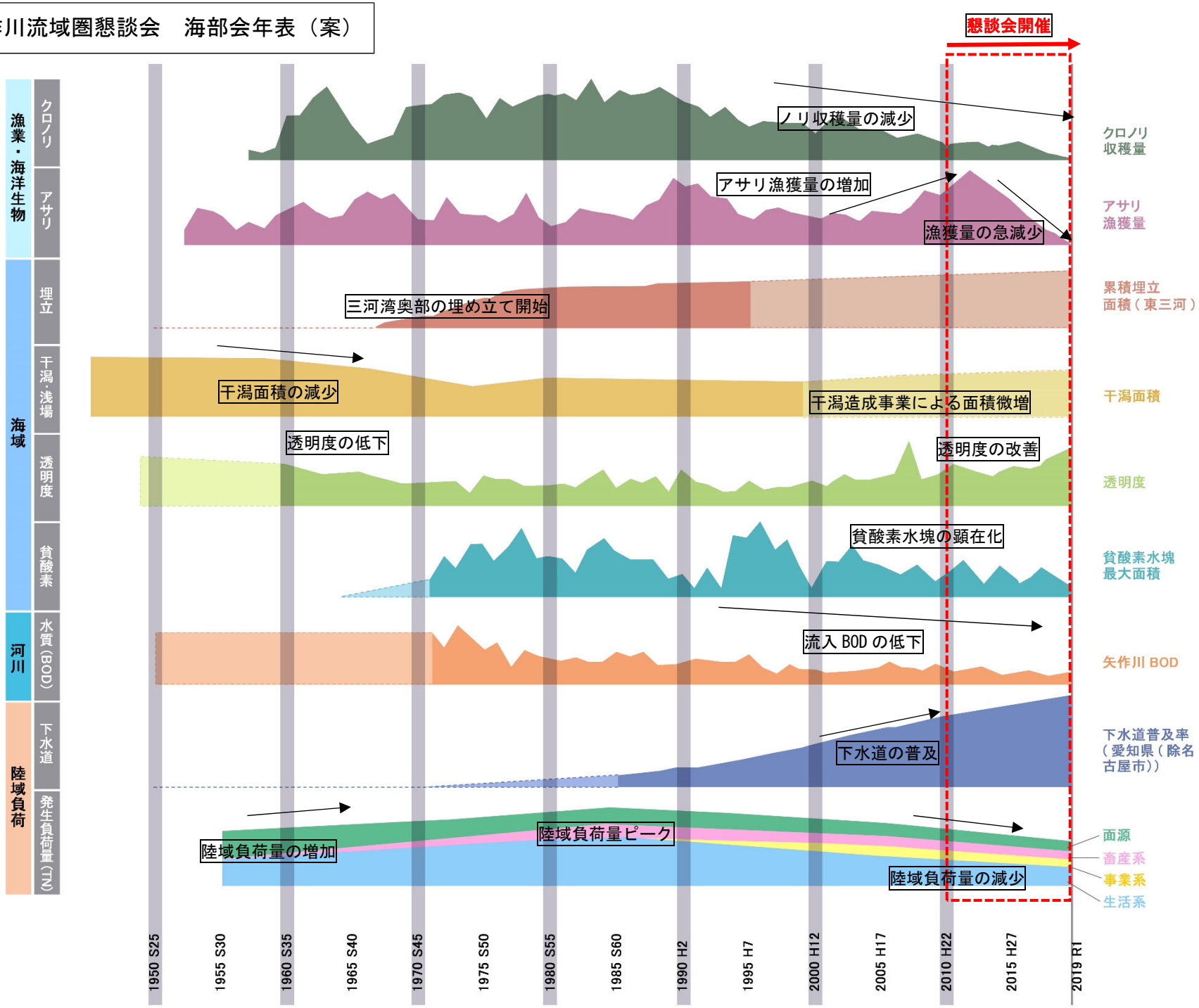
資料　矢作川流域圏懇談会　海部会年表（案）

資料１



※図中の破線は想定またはイメージです。　（参考）海域の物質循環健全化計画検討　三河湾ヘルシープラン（環境省　H25.3）をもとに作図

矢作川流域圏年表案（海部会）

矢作川流域圏懇談会活動期間

項目	()は和暦	1950 (S25)	1960 (S35)	1970 (S45)	1975 (S50)	1980 (S55)	1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)
<社会>	人口（愛知県）			・539万人	・592万人	・622万人	・646万人	・669万人	・687万人	・704万人	・726万人	・741万人	・748万人	
	高齢化率（65歳以上）													
	人口（西尾市）			・7万人	・8万人	・8万人	・9万人	・9万人	・9万人	・10万人	・10万人	・10万人	・10万人	
	高齢化率（65歳以上）												・24%	
	第1次産業人口（愛知県）			・10.1%	・6.8%	・5.4%	・4.7%	・3.7%	・3.3%	・3.0%	・2.9%	・2.3%	・2.2%	
	ダム事業			・矢作ダム竣工（1971年）			・矢作川緊急河床低下対策施工（1986年）			・矢作川豊田地区東海豪雨対策着手（2000年）			・矢作古川分派施設完成（2016年）	
				・干潟が以前の50%程度まで減少(1945～1970)					・長良川河口堰運用開始（1995年）		・中部国際空港開港（2005年）			
<行政>	法律			・水質汚濁防止法、海洋汚染防止法施行(1971年)				・河川法改正（1997年）	・水産基本法（2001年）	・矢作川水系河川整備計画の策定（2006年）		・水循環基本法（2014年）		
		・海岸法制定（1956年5月）						・環境影響評価法（1997年）	・漁港漁場整備法（2002年）			・COP10(2010年)		
	指針、制度				・CODを指定項目とした水質総量削減制度（1978年）					・漁業漁場整備基本方針の公表、第1次漁港漁場整備事業開始（2002年）				
						・東京湾、伊勢湾、瀬戸内海の集水域を指定地域とした総量削減の適用(1980年)				・第5総量規制に窒素、リンを加えた総量削減計画が決定（2002年）				
									「閉鎖性海域の環境に関する国際会議」開催(1996年)			閉鎖性海域中長期ビジョン策定(2010年)	藻場・干潟ビジョン策定（2016年）	
	下水道整備			・矢作川浄化センター事業着手（1972年）				・矢作川浄化センター供用開始（1992年）						
							・境川浄化センター供用開始(1989年)							
<自然災害>	全国における災害	・伊勢湾台風（1959年9月）							・阪神・淡路大震災（1995年1月）			・東日本大震災（2011年3月）	・九州北部豪雨（2017年7月）	
	矢作川における災害			・台風23、25、26号及び秋雨前線による水害（1971・渇水（沖縄を除く全国）（1986年）						・東海豪雨/恵南豪雨（2000年9月）	・平成20年8月末豪雨（岡崎豪雨）（2008年）			
				・集中豪雨により旧小原村、旧藤岡村を中心として大きな災害（1972年）						・矢作ダム渇水（2001年）				
<流域の動き>	公的機関					・伊勢湾富栄養化対策指導指針＿リン8%削減）（1982年）			・三河湾生物環境検討会（1997年）		・伊勢湾再生行動計画策定（2007年）			
								・豊田市矢作川研究所設立（1994年）			・三河湾流域圏会議（2007年）、三河湾流域圏再生行動計画（2008年）			
											・三河湾里海再生推進特別チーム設置（2008～2010年）			
						・福江湾大規模増殖場造成事業（1982～1988年）				・六条潟アサリ稚貝特別採捕制度スタート（1999年）		・三河湾環境再生プロジェクト（2012年～ 三河湾大感謝祭、三河湾環境再生体験会）		
							・三河湾シーブルー事業採択(1988年)		・シーブルー事業試験工事開始(1998年)		・伊勢湾流域圏一斉モニタリング（2009年～継続中）		・流域下水道）リン管理運転開始（2017年）	
								・三河湾”環境再生推進協議会（1990年）	・中山水道航路浚渫砂を使った干潟・浅場造成（1999年）			・矢作川流域圏懇談会設立（2010年～）		
										・矢作ダム堆積砂を使用した干潟・浅場造成事業（2008年～）				
					・西広瀬小学校矢作川の水質測定開始（1976年）					・愛知県漁場環境・生態系保全対策協議会設立（2009年）				
	市民団体	・矢作川沿岸水質保全対策協議会設立（1966年）					・矢作川環境技術研究会設立（1986年）							
		・矢作川流域開発研究会設立（1971年）				・矢作川をきれいにする会設立（一色町：1973年、豊田市：1976年）								
<海の生業>	漁業関係							・竹島、吉良アサリ貝毒発生（1991年）		・三河湾アサリ貝毒発生（2001年）				
									・空梅雨、猛暑でアサリ被害発生（1994年）	・六条潟苦塩アサリ稚貝斃死（2001、2002年、2007年、2008年）				
									・伊勢湾沿岸アサリ不漁（1996年）	・シラスウナギ不漁(2002年～)				
	アサリ漁獲量（t）										10,499	17,635 16,703 17,562 16,063 10,563	8,282 3,973	
	アサリ稚貝採捕量（t）									1,390	3,462	2,892	3,184	
	ノリ経営体数			7,015	3,684	2,604	1,895	1,248	935	567	454	279	215	
<環境>	COD（mg/L）						2.2	2.1	2.6	2.8	2.6	2.3	2.2 2.2 2.5	
	全リン（mg/L）									0.07	0.05	0.04	0.04 0.04 0.04	
	全窒素（mg/L）									0.58	0.41	0.39	0.37 0.41 0.38	
	三河湾赤潮発生回数								20	20	20	29	26	
	三河湾干潟の面積(ha)	2,627(1945年)			1,367(1978年)		1,549(1989年)		1,526(1996年)					
	三河湾埋め立て面積(ha)	16(～1955年)		32(～1965年)	660(～1975年)	1,708(～1985年)			2,073(～1995年)		2,343(～2005年)			
	藻場の面積（ha）			949(1973年)	923(1978年)		638(1989年)		570(1996年)					
<海の状況>										・東海豪雨によるごみの漂着（2000年）		・22世紀の奈佐の浜プロジェクト（2012年～）		
	マイクロプラスチック認識									・藤前干潟ラムサール登録（2002年）		G7）マイクロプラスチックごみ問題の認識(2015年)		

※干潟・藻場の面積は、調査回によって定義が異なっていることから、単純比較はできない。